

米づくりは
酒づくり

新潟・山田錦栽培会が 満場一致で発足!! 新潟米の価値を高める!

生産者通信

NPO法人
米マーケティングセンター
定価 100円(送料込)

アオーレ長岡に65名が参加!日本一の山田錦の産地を目指す!



TPP、米価の下落、減反廃止…。目まぐるしく激変する米情勢の中、新潟の生産者が生き残りを取り組む栽培会が発足しました。

山田錦は「西の米」というイメージで「新潟で栽培は無理なのでは?」という疑問が湧くと思いません。しかし、農林水産省の平成25年度産農産物検査データによれば、全国、北は宮城・山形県から西は宮崎県まで33の府県で銘柄指定されて栽培されています。

これは、コシヒカリが43府県、ひとめぼれ34府県、ミルキークイーン34府県の銘柄指定に次ぐ4番目の規模です。銘柄指定していない福島県でも山田錦は栽培されているので、南東北より西であれば十分に栽培が可能です。

役員体制

- ・会長 岩淵 忠男 (見附市)
- ・副会長 澤田 清一 (上越市)
- ・会計 中野 鉄弥 (長岡市)
- ・事務局 阿部 信行 (新潟市)

平成25年度産の酒米の生産量は全国で122万俵あまり。山田錦は36万俵で断トツ1位の生産です。新潟で盛んに栽培されている五百萬石は32万俵です。富山県では酒米の生産量7万3千俵のうち、山田錦は4千1百俵で5.6%の生産をしています。

「新潟・山田錦栽培会」発足!

2月26日の新潟・山田錦栽培会第1回勉強会には、生産者51名、関係者、マスコミなど合わせて65名が参加し大盛況でした。蔵元や酒米事情に詳しい専門家、そして昨年度山田錦を7反作付した(有)グリーンファームシテイ代表取締役の澤田清一さんから講演を頂きました。

参加者は、20代、30代、40代の若手生産者が過半数を占め、若い世代の熱気に包まれました。新潟米の新たな歴史を刻むのが若手を中心となる予感がすると共に、この危機的な米情勢の中で若者の力強さを感じました。

ゆきの精 種粳

175kgあります!!

エコ・ライスまでご連絡ください

4人体制で事務局は(有)エコ・ライス新潟に置くことが決定。会長に選出された岩淵忠男さんの掛け声で「いい米作るぞ!」と全員でこぶしを突き上げました。ここから本格的に始動します!